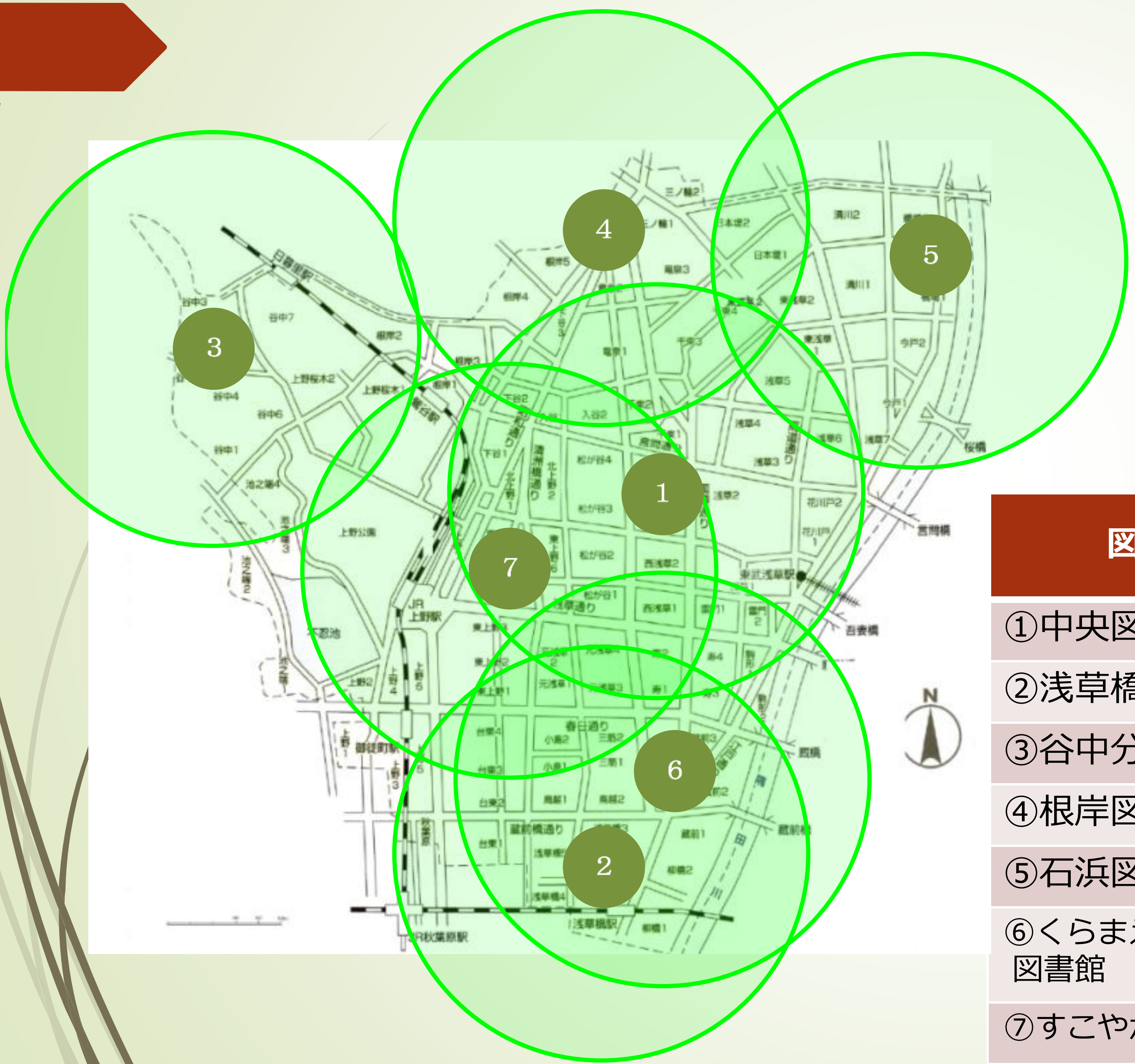
令和４年度　第１回台東区立図書館に関する意見交換会

台東区立図書館の現状と機能強化について

台東区立中央図書館

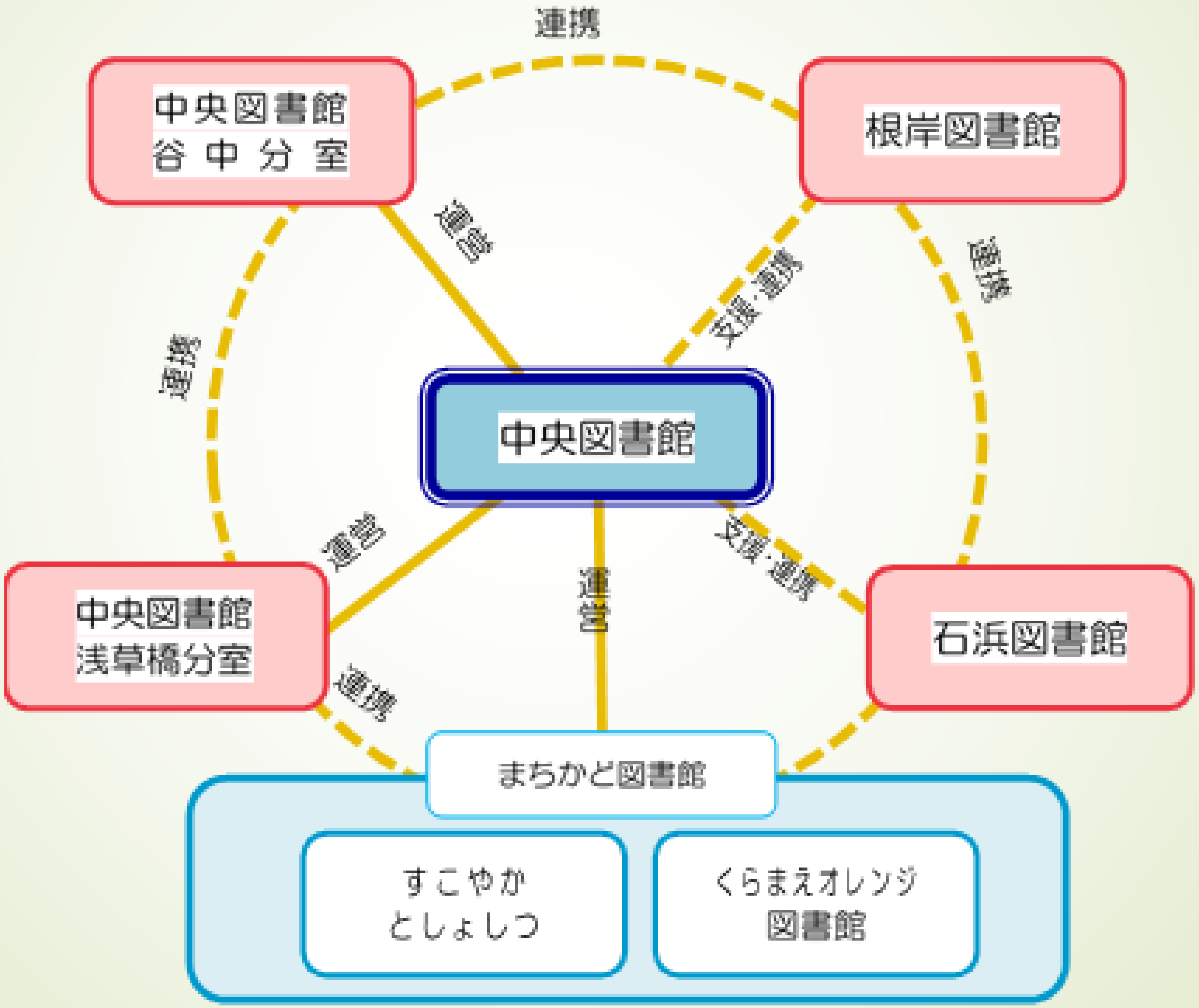
1　台東区立図書館の配置と概要

利用圏＝各拠点から半径1Km



図書館名	規模	蔵書（図書）	蔵書（視聴覚）
①中央図書館	3,844㎡	395,157冊	20,061点
②浅草橋分室	630㎡	36,190冊	4,740点
③谷中分室	719㎡	52,075冊	960点
④根岸図書案	688㎡	61,416冊	4,470点
⑤石浜図書館	1,004㎡	79,854冊	8,619点
⑥くらまえオレンジ図書館	82㎡	7,480冊	―
⑦すこやかとしょしつ	46㎡	3,933冊	25点

2　中央図書館と分館などの役割



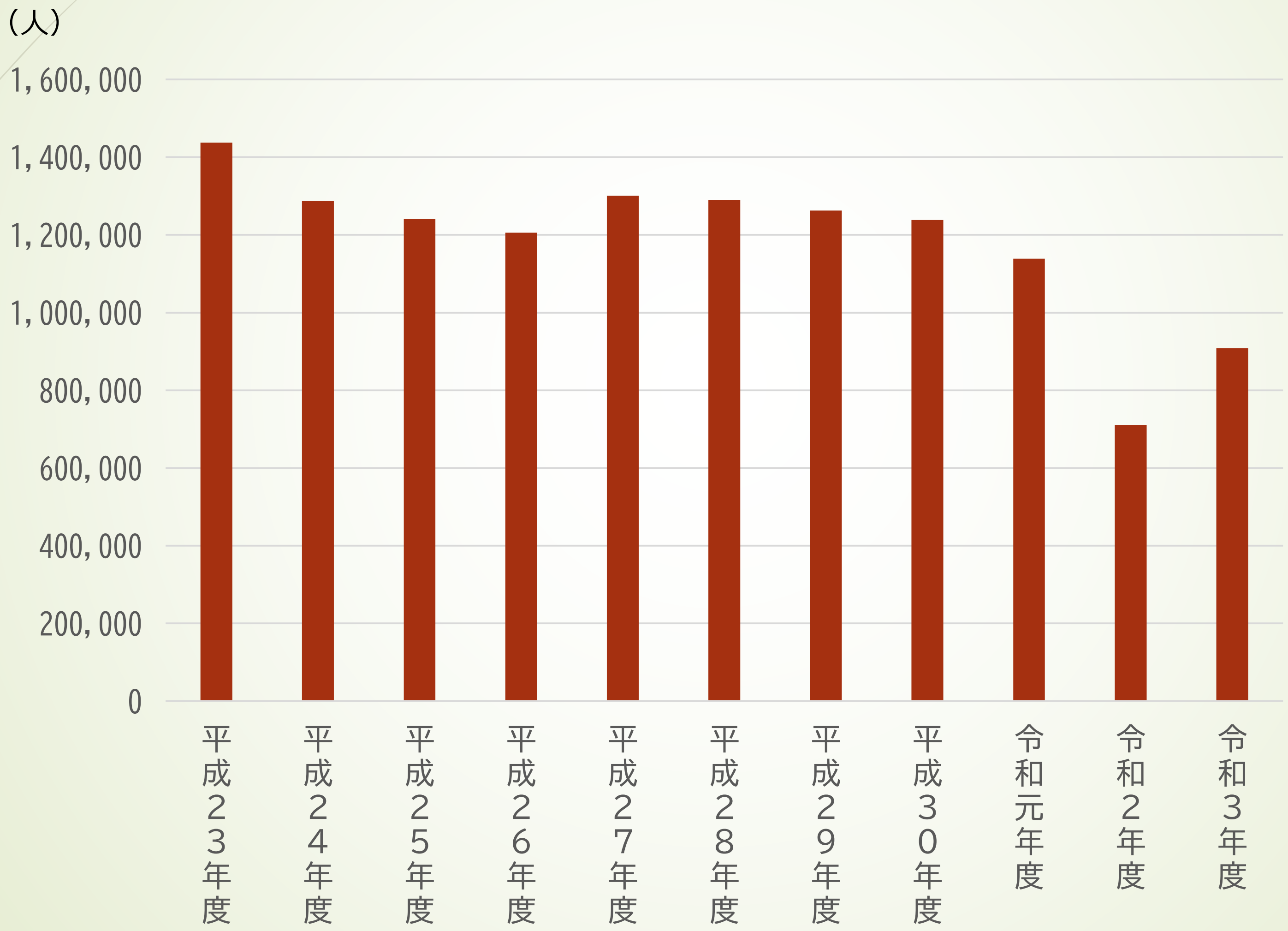
3　台東区立図書館の運営体制

- 全図書館にてカウンター業務委託を実施
- 職員数（令和４年９月１日現在）

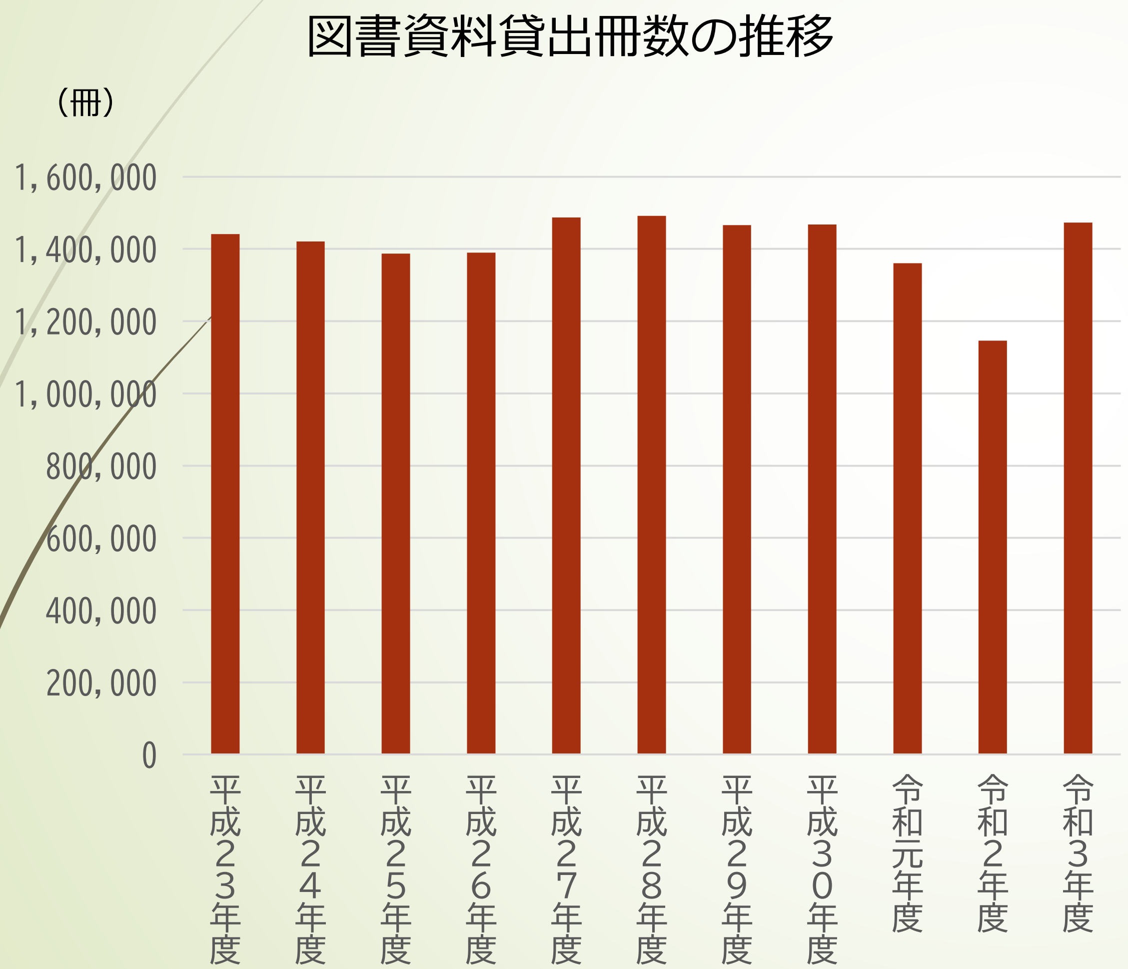
	一般	再任用	会計年度	計
中央図書館	24（2）	2（0）	25（23）	51（23）
根岸図書館	5（0）	1（0）	2（2）	8（2）
石浜図書館	5（0）	1（0）	2（2）	8（2）

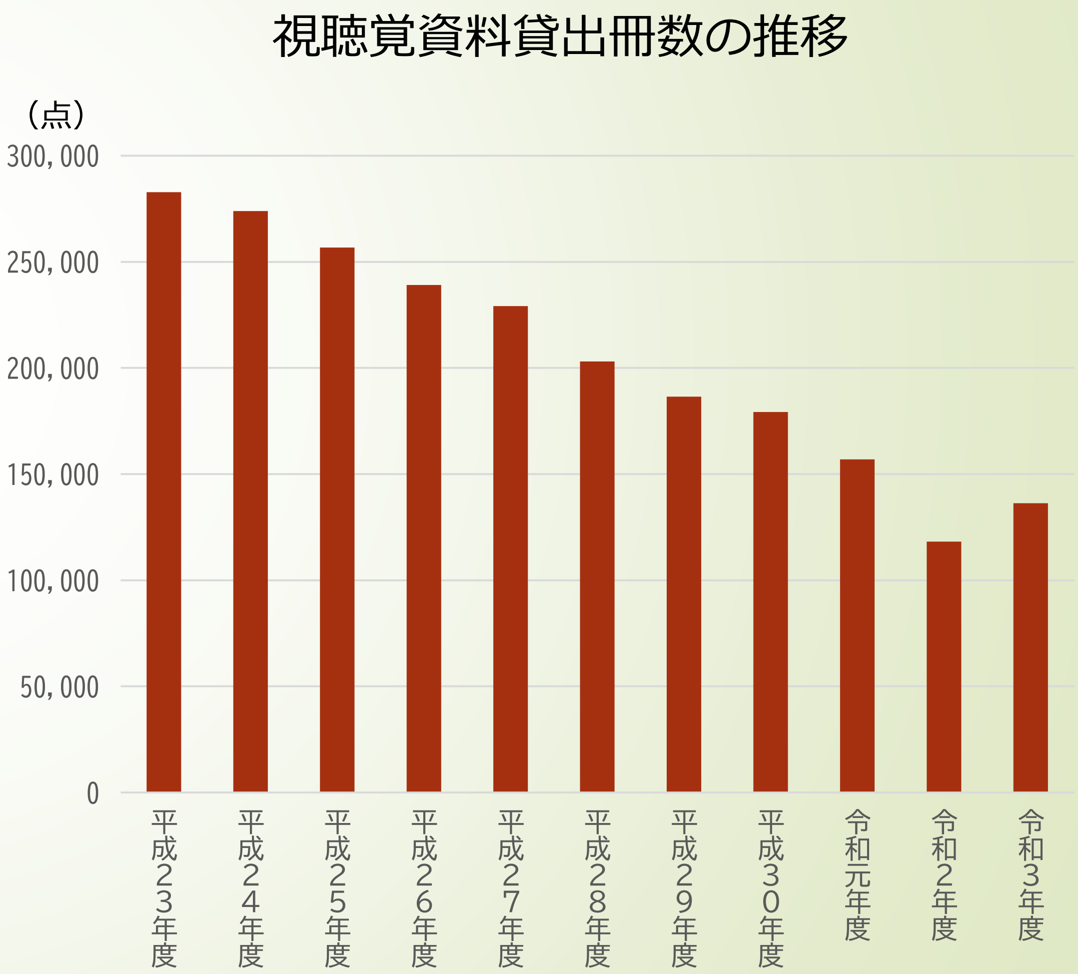
※（　）内の数字は司書の内数
※中央図書館には、浅草橋分室、谷中分室を含む

４　台東区立図書館入館者数の推移

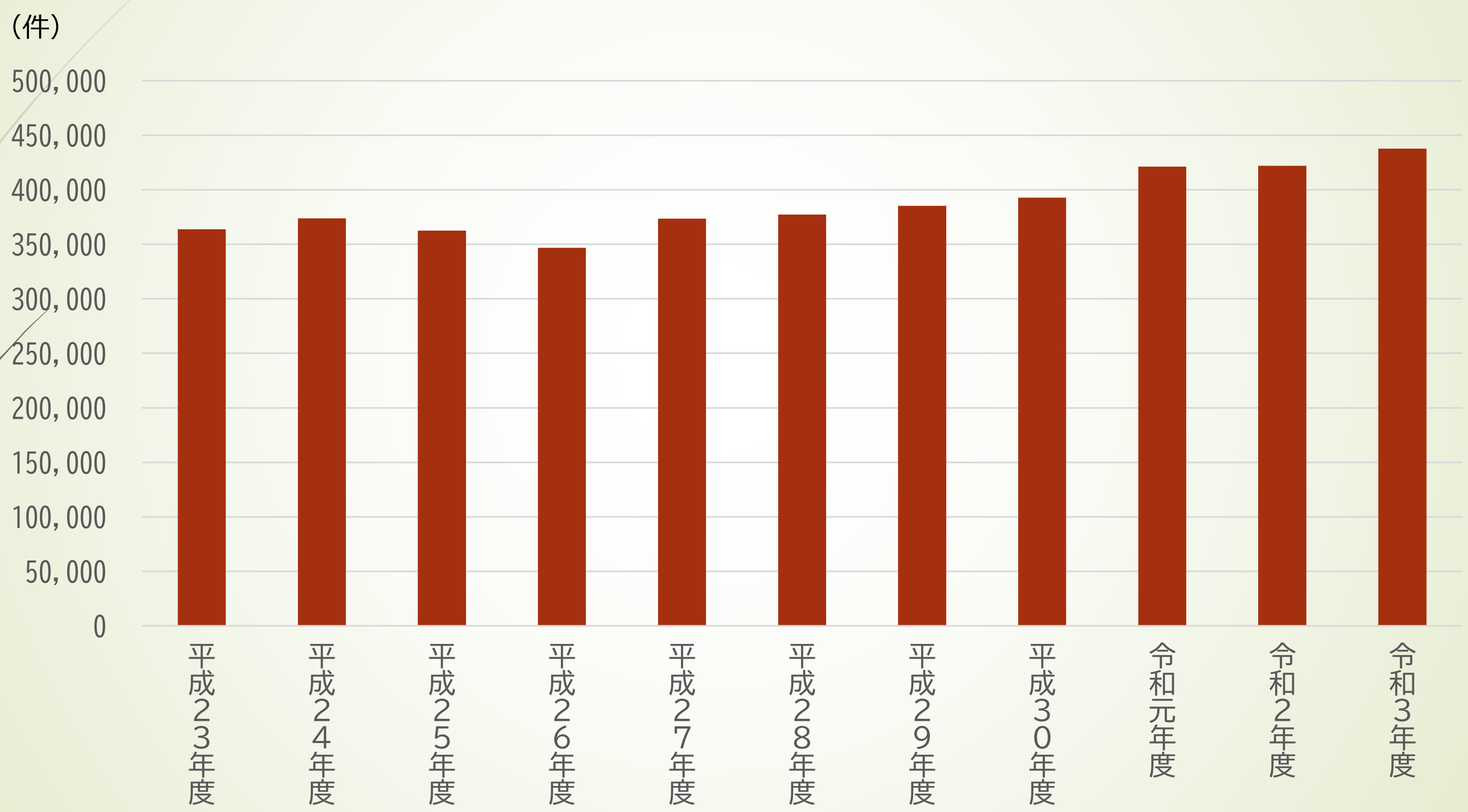


5　図書資料･視聴覚資料貸出冊数の推移





6　予約件数の推移



（件）
500,000
450,000
400,000
350,000
300,000
250,000
200,000
150,000
100,000
50,000
0
平成23年度
平成24年度
平成25年度
平成26年度
平成27年度
平成28年度
平成29年度
平成30年度
令和元年度
令和2年度
令和3年度

7　台東区立図書館取組方針（平成３１年３月策定）

目指す図書館像

台東区立図書館は、身近な情報拠点として区民の暮らしに寄与することと生涯を通じて学ぼうとする区民に必要な資料を提供するため、次の２つの図書館を目指します。

区民の役に立つ図書館

生涯学習を支える図書館

基本方針

目指す図書館像を実現するため、次の４つの基本方針に基づき取組みを行います。

「知りたい・学びたい」に応える

地域、区民の関心の高いテーマや課題など、区民に役立つ資料・情報を収集し、区民の求めに応じ的確・迅速に提供します。

子供の成長を支える

子供が読書に親しむための読書環境の充実や、子供の健やかな成長を支えるための読書活動を支援します。

歴史・文化を伝える

先人たちが大切に守り、育み、現代へ継承されてきた郷土資料を収集・保存・展示し、台東区の歴史・文化に親しめる環境を整備します。

絆が生まれる

気軽に図書館を利用し、人との出会いや地域における交流が深まる契機となる取組みを行います。

8　貸出・予約サービス

①貸出サービス

	貸出点数	貸出期間	延　長
図書・雑誌	1人15冊まで	2週間	2週間
CD	1人3点まで	2週間	2週間
DVD・ビデオ	1人2点まで	1週間	1週間

※令和４年１月から
耳で聴く本
「オーディオブック」
のサービスを開始。

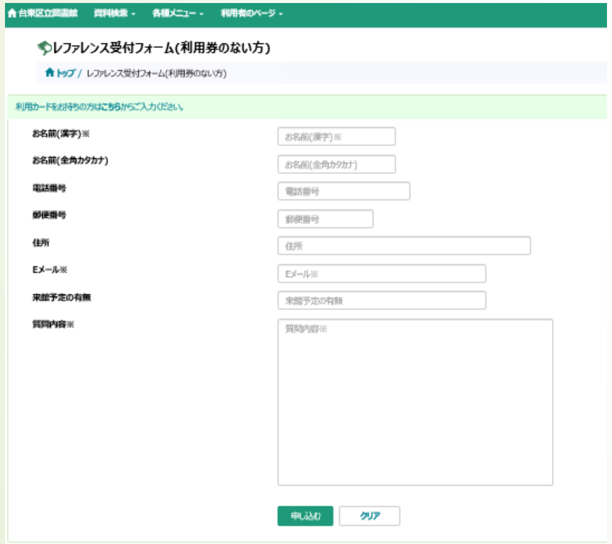
②予約・リクエストサービス

	予約点数	リクエスト点数
図書・雑誌	1人10冊まで	
CD	1人3点まで	－
DVD・ビデオ	1人2点まで	－

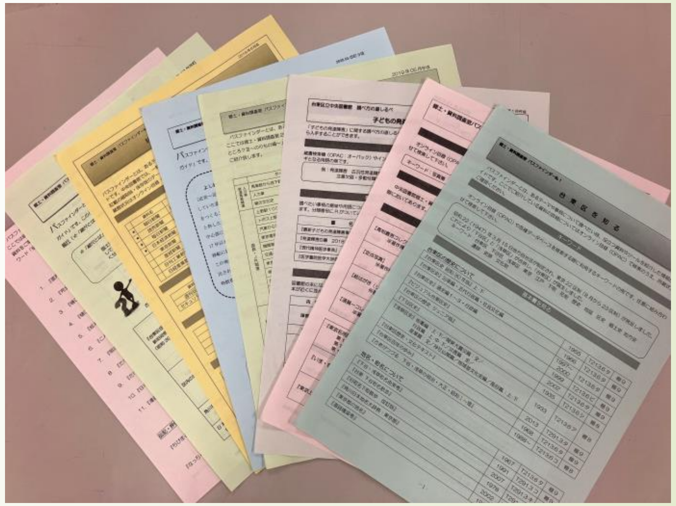
※令和４年１月から
所蔵のない資料のリクエスト
がWEB上で可能。

9　レファレンス(調べ物相談）サービス

調べもののお手伝いをするサービスであり、カウンター、電話、WEBで実施。必要な情報・資料を必要とする人に、図書館員が探す手助けを行っている。



令和４年１月よりＷＥＢからの
レファレンス受付開始



調べ物をする際の手引きとなるパスファインダーを作成・配付。

１０　児童サービス

- お話会や映画会など、年代別に様々なイベントを実施。

（おはなし会、あかちゃんほんタイム、映画会・人形劇等）

- 学校等と連携し、図書館見学・訪問お話会・訪問ブックトーク・団体貸出等を実施
- ブックリストや図書館案内チラシ等により普及啓発
- 読み聞かせボランティアの養成

１１　ヤングアダルト(中高生）・サービス

- 中高生対象の本を集めた「グリーンコーナー」を設置
- 中高生向けのイベントの開催や中学生の職場体験を実施
- 中高生向けのブックリストを作成・配付

中高生向けイベント
「ＰＯＰコンテスト」

１２　障害者サービス

　活字による読書が困難な方や、来館することが困難な方に対し、以下のサービスを実施

- 対面朗読
- 声の図書（DAISY・CD・テープ等）の作成･収集･貸出
- プレクストーク・マルチメディアデイジーの貸出
- 大活字本の貸出
- 点字図書・点字機セットの貸出
- 宅配サービス
- 拡大読書席･車椅子専用席の設置

プレクストーク

絵 横山陽平　製作 公益財団法人伊藤忠記念財団

マルチメディアデイジー

１３　郷土資料の記録と整備(郷土資料調査室)

- 台東区や東京に関する郷土資料や行政資料、台東区ゆかりの文学関連資料を収集、保存、提供。
- 図書館が所蔵する和本・浮世絵・地図・写真などの貴重資料を「台東区立図書館デジタルアーカイブ」で公開。
- 企画展を年４回開催。企画展開催中には、トーク・イベントやギャラリー・トーク等を実施。
- 定点撮影の実施（街の変遷の記録のため、昭和４９年から区内全域約６０か所の定点で定期的に撮影）

企画展

デジタルアーカイブ

１４　池波正太郎記念文庫

- 池波正太郎作品に関する様々な資料を収集し、書斎の復元や著作・自筆原稿・絵画等の一部を常時展示。
- 時代小説コーナーを設け、戦前の貴重本から現代の人気作品まで時代小説に関する資料を収集し、公開。
- 企画展を年４回、講演会を１回、講座を４回開催。

平成13年９月２６日
中央図書館内に記念文庫を開設

令和５年１月２５日
生誕１００年

１５　図書館情報の発信

図書館の利用を促進するため、様々な媒体を活用して情報発信。

図書館HPによる周知

メールマガジン、LINE
ツイッターによる情報発信

「図書館だより」等の
情報誌の作成・配付

YouTube配信

16　機能強化に向けての現状と課題①

- 閲覧・貸出を中心の静かな図書館から、カフェ併設や交流スペースの設置等、賑やかな滞在・交流型図書館が増えている。
- 学校教育では対話的・共同的な学びが重視されてきている。
- 個人閲覧席のみでグループ学習等を行う場がない。
- 児童に比べ大人向けイベントが少ない。

↓

個人学習に留まらず、共同学習や交流など多様な学びの場が必要

17　機能強化に向けての現状と課題②

- 2019年6月「読書バリアフリー法」の施行により、これまで以上に障害者が利用しやすい図書館に整備する必要がある。
- 東京2020のレガシーで障害者への関心が高い。
- 現コーナーが狭く目立たないためサービスの認知度が低く、資料の貸出も少ない。
- 拡大読書席等が奥にあり利用しづらい。

↓

障害者の生涯学習を支える環境整備が必要

18　機能強化に向けての現状と課題③

- 情報化の進展によりインターネット、タブレット、スマートフォン等が広く普及している。
- GIGAスクール構想によりICT教育が急速に進み、ＰＣ等を活用した学習や調査研究が増えている。
- 現在Wi-Fiが整備された電子機器の持込席は12席しかない。

↓

情報化の進展に対応できる
環境整備が必要

19　機能強化に向けての現状と課題④

- 郷土資料調査室内に設置する「企画展」の場所が分かりづらい。
- ゆっくりと閲覧したり、ギャラリートーク等のイベントができる十分なスペースが少ない。

↓

台東区の歴史・文化に親しみ知的好奇心を高める環境整備が必要

２０ これからの図書館に求められる機能･サービス（課題に対する意見）

	図書館が考える課題	具体的にどんな機能･サービスが必要か
①	個人学習に留まらず、共同学習や交流など多様な学びの場が必要	
②	障害者の生涯学習を支える環境整備が必要	
③	情報化の進展に対応できる環境整備が必要	
④	台東区の歴史・文化に親しみ知的好奇心を高める環境整備が必要	

21 これからの図書館に求められる機能･サービス（自由意見）

		今後どんな空間・機能が必要か？又は必要ないか？
①	「こどもとしょしつ」について	
②	「視聴覚コーナー」について	
③	「カウンター」について	
④	図書館全体の雰囲気・案内サイン等について	